



小雀公園 里山通信



Vol.33 冬仕事と冬の植物



今冬は大した冷え込みもないなと思っていたら、後半に来て一気に追い上げをかけてきました。とはいえ、日本海側は生活もままならないほどの大雪になっていたのので、それと比べたら申し訳ないほど平和なものです。数年前までは外の水道が凍って水が出なかったり、池も全面凍結したのですが、今年は浅い湿地の水辺が凍っている程度でした。積もるような雪も降らず、乾燥した日が続きましたが、これからは雨の日も増え、一雨ごとに暖かくなり、茶色い地面は草の芽吹きで緑色に変わっていくことでしょう。



枯草につく虫を食べるシジュウカラ

冬の間は虫の越冬場所や小鳥の採餌場として枯草を刈らずに残している場所が多くありましたが、芽吹き前に草刈を行い、冬から春へ移り変わりの準備を行っています。枯草があることで姿を隠してくれる役割もあったため、鳥たちも結構近距離で見ることができましたが、枯草刈が終わったら、新しい草が伸びるまではツツジの植え込みの中でも避難してもらうことにしましょう。



間伐をして、スッキリした竹林に

その他には竹の間伐も行いました。冬の竹は水の吸い上げが少ないため、丈夫な竹材を採取する

ことができます。切った竹は、今後竹柵や土留めなどに利用していきたいと思います。

冬は寒いし見るような植物もないしと、公園から足が遠のいていた方も多いかもかもしれません。冬は冬の楽しみ方もあり、落葉樹の冬芽の観察も面白いです。葉痕(枝についていた葉が落ちた傷跡)は人や動物の顔に見えるので、何に見えるか想像を膨らませながらお気に入りを探すと面白いですよ。これから暖かい日が増えてきますが、冬芽の観察はまだできるので、ぜひ外に出て探してみてくださいね。



アジサイ(左)とオニグルミ(右)の冬芽と葉痕



小雀公園 ☎045-853-1945

<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>

横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

